

News Letter

学校法人兵庫医科大学ダイバーシティ推進室

Pick up

- キャリアデザイン交流会
「Nanairo Café ～医師・研究者として、どんな未来を描きますか？」
- ダイバーシティ研究費助成

News & Topics

- 科研費申請支援セミナー
「審査員の心をつかむ研究計画書の作り方」
- ダイバーシティプロジェクト(DP)教員交流会
- 女性研究者の活躍
- 「女性活躍推進法」および「次世代育成支援対策推進法」に基づく一般事業主行動計画を更新しました



Pick up

キャリアデザイン交流会 「Nanairo Café ～医師・研究者として、どんな未来を描きますか？」

日 時：2025 年 6 月 26 日

講師・ファシリテーター：広島大学医学部附属医学教育センター センター長 / 教授

本学特別招聘教授 蓮沼 直子 先生

パネリスト：兵庫医科大学に所属する医師・研究者 参加者：20 名（学生、医師・教員、事務局）



医学部学生や初期研修医のキャリア形成支援を目的とした交流会を開催しました。

トークセッション「先輩たちのキャリアとライフイベント」では、講師の蓮沼 直子先生とパネリストの先生方から、医師・研究者としての転機、影響を受けた出会い、ライフイベントに伴うキャリアの選択やワークライフバランスなどが、楽しいエピソードも交えながら語られ、学生からの「留学のタイミング」、「専門医取得のメリット」などの質問にも、ご自身の経験をもとにした明快で親身なアドバイスがありました。最後に、ダイバーシティ推進室長の高雄 由美子先生から「今日をきっかけに将来のキャリアをイメージし、迷ったときはいつでも身近な先輩に相談をしてください」とメッセージが送られました。

参加者からは「臨床実習で色々な科に興味が向いている中で、将来を考える良いきっかけになった」、「授業とは違い質問しやすかった」などの感想が寄せられ、交流会終了後も質問や語らいが続きました。

今後も学生や若手医師がメンターやロールモデルと出会い、自身の将来像を具体的に描けるような機会を提供してまいります。

兵庫医科大学ロールモデル集
「Nanairo - 医師・研究者編 -」
はダイバーシティ推進室
公式 HP から
ご覧いただけます。



ダイバーシティ研究費助成

▶2025 年度 採択研究課題

女性研究者の研究能力の向上と優れた研究成果の創出、復職者の研究リスタート支援を目的として、2 タイプの研究費助成の公募を実施し、下記の通り採択者が決定しました。

①女性研究者研究費助成

【目的】次世代を担う優秀な女性研究者の研究力向上とキャリアアップ

氏名（職位 / 所属は採択時のもの）	研究課題名
石瀬 久子 講師 形成外科学	ケロイドにおける老化細胞の関与について
大東 真菜 助教 糖尿病内分泌・免疫内科学	糖尿病患者における血糖管理、血管合併症と睡眠障害の関連
谷口 路善 助教 産科婦人科学	子宮悪性腫瘍の進展における LOX-1 および CRP (CRP-LOX1 axis) の役割の検討
福本 結子 助教 消化器外科学（下部消化管外科）	切除可能大腸癌を対象とした日常臨床における術後 ctDNA の有効性を評価する観察研究
山本 薫子 レジデント A 歯科口腔外科	骨吸収抑制薬の投与歴のある患者への抜歯処置は薬剤関連顎骨壊死を発症させるのか

②リスタートアップ研究費助成

【目的】ライフイベント等による休職・離職者の研究活動への復帰（性別を問わず）

※ 今年度は該当者無し

▶2023 年度 採択者研究成果報告会

日 時：2025 年 6 月 25 日

参加者：2023 年度採択者（2 名）、
ダイバーシティ推進室教員、事務局

2023 年度採択者（助成期間 2 年）より、研究の進捗と成果、今後の論文文化に向けた展望などについて報告が行われました。質疑応答では、出席教員から臨床データの測定方法に関する助言が寄せられるなど、活発な議論が交わされました。また、本学のダイバーシティ推進事業に関し、日ごろ感じていることや課題について意見交換を行い、多様な視点を共有する貴重な時間となりました。



科研費申請支援セミナー 「審査員の心をつかむ研究計画書の作り方」

日 時：2025 年 7 月 10 日 開 催：対面とオンラインのハイブリッド形式
講 師：医学部 消化器外科学（上部消化管外科）篠原 尚 主任教授
参加者：158 名（後日神戸キャンパスと西宮キャンパスで行った
上映会の参加者含む）



社会学連携・研究推進センターとの共催で、科研費申請支援セミナーを開催しました。

基盤研究（B）をはじめとする数多くの科研費を獲得し、審査員も務めてこられた講師より、実際の申請書をもとに、「新聞を参考にした読みやすいレイアウト」や「研究目的が一目で分かる図の作成」など、研究計画書の「見映え」を意識した効果的な表現方法が紹介され、参加者はメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。

本セミナーで研究計画書作成における重要なポイントやテクニックを学び、今年度の申請に向け、意欲を高める場となりました。

参加者の感想（抜粋）／

- ▶どのように審査員に提示するべきなのか、計画書の情報を効果的に伝える方法など、研究計画書の作成に関するノウハウを教えて頂けて大変参考になった。
- ▶とても具体的な内容で、フォーマットの工夫で見栄えを良くすること等、早速活用させていただけそうです。

▶「イメージは新聞」というのは分かりやすかったです。図の作成はもっと丁寧にやろうと思いました。

▶審査員の方に読む気になってもらうことを意識して作成しようと思います。



ダイバーシティプロジェクト（DP）教員交流会

日 時：2025 年 7 月 30 日
参加者：2023 年度・2024 年度 DP 教員（5 名）
鈴木 学長（ダイバーシティ推進本部長）
ダイバーシティ推進事業に関わる教員、事務局
内 容：・DP 教員活動報告
・意見交換 「本学ダイバーシティ推進事業における
女性研究者支援の課題と今後について」



女性教員活躍のためのポジティブ・アクションとして創設されたダイバーシティプロジェクト（DP）教員制度採択者と、学長や関係教員による交流会を開催しました。

はじめに、DP 教員からこの 1 年の取り組みとして、研究の進捗や学生・若手への指導、学会発表など、学内外での精力的な活動が報告されました。

次に、本学における女性研究者支援に関する意見交換では、DP 教員制度や研究支援員配置制度について、「大学が応援してくれていると感じ、励みになっている」といった声上がる一方で、子育て中の女性教員が論文文化に向けた時間確保に苦労している現状や、研究との両立、キャリア構築などの難しさが語られ、ライフイベント期と重なるレジデント・病院助手・助教など若手層へのさらなる支援の必要性が指摘されました。

普段は他の医局や講座との交流が少ない中、お互いの話を聞き、悩みや課題を共有し合うことで新たな気づきが得られ、大変有意義な交流会となりました。

女性研究者の活躍

李 知子 先生
小児科 臨床准教授



DP 教員（2023 年度採択）の李知子先生が、第 51 回日本マスキング学会学術集会（2024 年 8 月 23・24 日）において、最優秀演題賞を受賞されました。また、2024 年度の日本先天代謝異常学会奨励賞を受賞され、第 65 回日本先天代謝異常学会学術集会（2024 年 11 月 7-9 日）で受賞講演を行いました。

「女性活躍推進法」および
「次世代育成支援対策推進法」に基づく
一般事業主行動計画を更新しました
（期間：2025 年 4 月 1 日～2030 年 3 月 31 日）

ダイバーシティ推進室では、関連部署と連携しながら、誰もが活躍できる職場環境の実現に向けた取り組みを進めて参ります。

★取り組みや数値目標は、ダイバーシティ推進室公式 HP をご覧ください。



編集後記

今回の紙面でご紹介しております「キャリアデザイン交流会」は、初めて学生を対象に実施したセミナーとなりました。

初めての試みということもあり、準備段階から、どのようにアプローチすれば興味を持ってもらえるか、どう周知すれば多くの参加につながるかなど、関係各所と連携しながら、ダイバーシティ推進室としても試行錯誤を重ねました。

当日には、飛び入りで参加してくれた学生も多く、先生方の講演に熱心に耳を傾ける姿や、セミナー終了後に積極的に相談する様子も見られ、参加者にとって有意義な時間を提供できたのではないかと思います。

今後も、学生にとって「気づき」や「きっかけ」となるような場づくりを目指して、取り組みを続けてまいります。

発行

兵庫医大 ダイバーシティ | Q

学校法人兵庫医科大学 ダイバーシティ推進室

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町 1-1

TEL：0798-45-6428（直通）

E-mail：danjyo-kyodo@hyo-med.ac.jp

URL：https://www.hyo-med.ac.jp/corporation/about/activity/diversity/office/

